
へいせい ねん ど とくしまたいかい
平成29年度 アビリンピック徳島大会

パソコンワープロ〔知的障害者部門〕

ルール（守らなければならないこと）

- ① 説明が終わるまで、マウスやキーボードをさわらないでください。
- ② 説明がわからなかったときは、声を出さないで手をあげてください。
- ③ パソコンが動かなくなったり、声を出さないで手をあげてください。
- ④ 頭やお腹が痛くなったり、気分が悪くなったりしたときは、手をあげてください。
- ⑤ 競技中は、おしゃべりをしたり、歩き回ったりしないでください。
- ⑥ 「始めてください」と言ったら、競技を始めてください。

きょうぎ じゅんばん
【競技の順番】

① にゅうりょくれんしゅう ふん
入力練習（5分）

いんさつ
印刷テストをします。

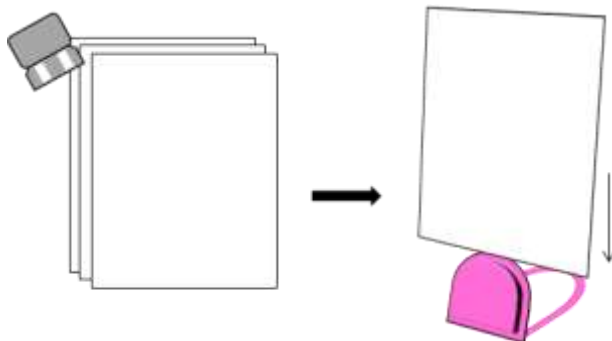
② かだい にゅうりょくもんだい ぶん
【課題1】 入力問題（30分）

きゅうけい ぶん
休憩（10分）

③ かだい じむぶんしょさくせい ぶん
【課題2】 事務文書作成（30分）

【お知らせ】

* ペーパースタンドは、つかっても使わなくても構いません。使うときは、課題をとめているクリップをはずし、立てたいページをペーパースタンドに差し込んでください。



* 競技課題は、漢字にふりがながついている課題と漢字にふりがながついていない課題の2種類を配っています。使いやすいほうを使ってください。

にゅうりょくれんしゅう 【入 力 練 習】

れんしゅうじ かん ふんかん
練 習 時 間 は 5 分 間 です。

- ① れんしゅう ひら
「練 習」ファイルを開きます。
- ② れんしゅうはじ い にゅうりょく はじ
「練 習 始 め」と言ったら、入 力 を始めてください。
- ③ にゅうりょく お れんしゅう お い
入 力 が終わっていても「練 習 終 わ り」と言ったら

て と
手 を 止 め て く だ さ い。
- ④ ひ と り いんさつ
一 人 ず つ 印 刷 テ ス ト を し ま す。

かんじ
※漢字のふりがなはいりません。

にゅうりょくれんしゅう
(入力練習)

じゃらんパックより引用

しめい
氏名

あきたび
「秋旅」

さあ、待ちに待った錦秋の幕開けです。

わたしは、秋になると出かけたくになります。美味しいものも食べたくになります。

家族で！親しい人で！秋の旅の計画を立ててみるのはどうでしょうか。

あき秋におすすめな「秋旅プラン」を紹介したいと思います。

1. 美しく染まった景色を眺めながら、心まで温まる極上の温泉まった

りプラン

2. 色づく景色をお宿から贅沢に満喫できる紅葉満喫プラン

3. この季節にしか味わえない秋の味覚に舌鼓。旬を楽しむ秋のグルメ

プラン

4. 秋は涼しい風が心地よく、家族旅行に優しい季節、秋の連休を利用

して、家族でわいわい思い出旅行プラン

どれもゆっくり秋を楽しめそうです。

あなたの「秋旅」・・・何を選びますか。

【課題 1】^{か だ い} 入 力 問 題^{に ゆ う り よ く も ん だ い}

^{き ょ う ぎ じ か ん} 競技時間は 30 分間です。^{ぶ ん か ん}

- ① ^{に ゆ う り よ く も ん だ い}「入 力 問 題」^{ひ ら} ファイルを開きます。
- ② ^{き ょ う ぎ は じ}「競技始め」^い と言ったら、^{に ゆ う り よ く} 入 力 ^{は じ} を始めてください。
- ③ ^{き ょ う ぎ お}「競技終わり」^い と言ったら、マウスやキーボードから^て 手をは
なしてください。
- ④ ^{か か り い ん} 係 員 が ^{ほ ぞ ん} データを保存しますので、^{あ い だ} その ^{せ き} 間 は ^{す わ} 席に座ったまま
^ま で待っていてください。
- ⑤ ^{き ゅ う け い}「休憩してください」^い と言ったら、^{ぶ ん か ん き ゅ う け い} 10 分間休憩します。

かんじ
※漢字のふりがなはいりません。

にゅうりよくもんだい
入 力 問 題

あおぞらぶんこ いんよう
「青空文庫」より引用

(氏 名)

ゆめ たまご
「夢の卵」

とお むかし
遠い昔のことで、インドの奥に小さな王国がありました。その国の
おうさま しろ たか やま
王様の城は、高い山のふもとに堅い岩で造られていました。前にはきれ
いな谷川が流れており、後ろには広い森が茂っていました。谷川の水は
いつも冷たく澄みきって、苔むした岩の間にさらさらと音を立てています
し、森の奥には何百年となき古い木が立ち並んで、魔物が住んでいると言
われていて、ほとんど誰も足を踏み入れる者がありませんでした。

しろうつく わか おうじ ひとり
その城に、美しい若い王子が一人ありました。朝のうちは、えらい学者
たちについていろんなことを学び、午後になると、城の中の庭を駆け廻った
り、城の前の谷川で遊んだり、また時には、谷川の向こうの町やその近
くの野原を、象の背に乗って散歩しました。晩には、国王に仕えている年
とった侍女達から、おもしろい話をききました。そして夜眠ってからは、
さまざまな夢をみました。鳥や獣や虫や花や化け物や、そのほか見たこ
とも聞いたこともない不思議なものが、夢の中に出てきました。

ゆめ
それらの夢をみるのが、王子にとっては一番の楽しみでした。そして
よくあさ
翌朝になると、侍女や学者達に、また国王や女王へまでも、夢の話を
してきかせました。水の精から銀の魚をもらったことだの、真珠の眼玉を
も 持つてゐる小鳥のことだの、空いっぱいになつ赤な花を開いた大きな草のこ

とだの、^{きみよう}奇^{こえ}妙^{うた}な声で歌いながら^{おど}踊^{むし}る虫のことだの、^{ごしき}五色の息を吐く怪^{はいぶつ}物のことだの、^{じゆうじざい}自由自在に空を飛び廻^{そら}る^と仙^{まわ}人のことだの、いくつもいくつも
ありました。

^{おうじ}王子があまり^{ゆめ}夢のことばかり^{はな}話すものですから、^{こくおう}国王はある時^{ときおうじ}王子をた
しなめました。

「そんなに^{ゆめ}夢のことばかり^{かんが}考^{まえ}えないで、お前^{たし}はもっと確かなことに^{こころ}心^むを
向^{がくしゃたち}けなければいけない。学^{ねっしん}者^{べんきよう}達についてもっと熱心に勉^{ゆめ}強^{ほう}しなければい
けない。学^{がくもん}問というものは、みな確かな本^{たし}当^{ほんとう}のことばかりで、深^{ふか}くはいる
と、夢^{ゆめ}よりもいっそう^{ふしぎ}不思議でおもしろいものだ。ところが夢^{ゆめ}の方^{ほう}は、みな不
確^{たし}かな嘘^{うそ}ばかりで、眼^めがさめると消^きえてなくなるではないか」

けれど^{おうじ}王子にとっては、夢^{ゆめ}もやはり学^{がくもん}問^{おな}と同じように、確^{たし}かな本^{ほんとう}当^きの
ことであると思^{おも}われました。ただ、国^{こくおう}王^いから言^{とお}われた通^めり眼^きがさめると消^き
えてなくなるのだけが不^{ふまん}満^めでした。もし、眼^めがさめてからも夢^{ゆめ}が消^きえなかつた
ら……！ 夢^{ゆめ}を捕^{つか}まえることが出来^{でき}たなら……！

「そうだ、夢^{ゆめ}を捕^{つか}まえてやろう」と^{おうじ}王^{かんが}子^がは考^{かんが}えました。

ところがどうして夢^{ゆめ}を捕^{つか}まえてよいか、いくら^{かんが}考^{かんが}えてもわかりませんで
した。それで^{おうじ}王^{がくしゃたち}子^{ゆめ}は学^{つか}者^{しかた}達に、夢^{ゆめ}を捕^{つか}まえる仕^{しかた}方をたずねました。けれど
いくら^{がくしゃたち}学^{ちえ}者^{ちえ}達が知^{ちえ}恵^{ちえ}をしぼっても、そんなことはとても^{かんが}考^{かんが}え出^だされません
でした。

「夢^{ゆめ}を捕^{つか}まえることばかりは、^{わたくしども}私^{ちえ}共^{およ}の知^{ちえ}恵^{およ}も及^{およ}びませぬ」と^{がくしゃたち}学^{がくしゃたち}者^{がくしゃたち}達は
^{こた}答^{こた}えました。

それでも王子は力ちからを落おとしませんでした。この上うへは自分一人じぶんひとりで夢ゆめを捕つかまえてやろうと決けっしん心しんしました。夜寝る時よるねとき、一生いっしょう懸命けんめいにその覚悟かくごをしておいて、それから眠ねむりました。そして夢ゆめの中なかにいろんなものがででく来ると、はめと眼めを覚さましながら両手りょうてを差さし出だしました。けれどその時ときには、もう夢ゆめは消きえてしまっていました。王子は口惜くやしくてたまりませんでした。どうかして夢ゆめを捕つかまえたいと思おもって、両手りょうてを布団ふとんの外そとに出だして寝ねましたし、しまいには、網あみや籠かごなんかを手てに握にぎって寝ねました。そして夢ゆめをみてから、はめと眼めがさめるかさめないうちに、網あみや籠かごを夢ゆめの上うへに押おつかぶせようとすると、もう夢ゆめは消きえてしまっていました。何度なんどやっても同おなじことでした。

「どうしたらいいかしら？」と王子は昼ひるも夜よるも、そのことばかりを考かんがえていました。

ある夜よる、王子は疲つかれきつた悲かなしい心こころで、いつもより深ふかく眠ねむってしまいました。すると間まもなく、また夢ゆめをみしました。……紫むらさき色いろの雲くもが遠とおくから飛とんできます。それをじつと見みつめていると、もやもやとしたその雲くもが、自分じぶんのすぐ前まえまでやきって来きて、その中なかから、身体からだ中じゅうましろっ白ながい毛けの生はえた老人ろうじんの姿すがたが、ぼんやり浮うかび出でました。

か だ い じ む ぶ ん し ょ さ く せ い
【課題 2】 事務文書作成

きょうぎ じ か ん ぶ ん か ん
競技時間は30分間です。

① じ む ぶ ん し ょ ひ ら
「事務文書」ファイルを開きます。

② きょうぎ は じ い じ む ぶ ん し ょ つ く
「競技始め」と言ったら、事務文書を作ってください。

③ ぜん ぶ か だ い お ひ と へ や で
全部の課題が終わった人は、部屋から出ておかまいませんが、

 ご い ち ど へ や は い
その後もう一度部屋に入ることはいけません。

④ ぜん ぶ か だ い お へ や で ひ と じ ぶ ん に も つ も
全部の課題が終わって、部屋から出る人は自分の荷物を持っ

 し ず へ や で
て、静かに部屋を出てください。

⑤ も ん だ い よ う し も か え
問題用紙は持って帰ってもかまいません。

かんじ
※漢字のふりがなはいりません。

文字
サイズ
11

じ む ぶんしよ し め い
事務文書（氏名）

ぶ ちょう か く い
部長各位

へいせい ねん がつ にち
平成29年9月1日

じん じ ぶ きょういく か
人事部 教育課
あいず たろう
合図 太郎

文字
サイズ
11
みぎぞろ
右揃え

も じ
文字サイズ：18
ふ と じ ちゅうおうそろ か せん
太字・中央揃え・下線 ↓

かいさい パソコンスキルアップセミナー開催について

このたび、パソコンの利用技術の向 上 を目的としたセミナーを開催いたします。今回は、

かねてから要望の多かった「事務文書」の講座です。

つきましては、参加希望者の氏名と希望の日程を各部署にて取りまとめの上、受講 申 込書に

てご回答をお願いいたします。また、事前に受講者のレベルを把握するため、使用 状 況 に関

する質問を設けましたのであわせてご記入ください。

1. 開催日：平成29年9月25日（月）～28日（木）4日間

2. 開催時間：18：30～20：30

3. 研修会場：本社2階 パソコン研修室

4. 研修内容：「事務文書作成」初級・上 級 各5名ずつ

5. 回答期限：9月20日（水）

← 赤字・太字・波線の下線

も じ
文字サイズ14・太字・
あ み ちゅうおうそろ
網かけ・中央揃え →

か か かんから すべ しゅつせき
4日間必ず全て出席するようにしてください。

も じ
文字サイズ12
みぎぞろ
↓ 右揃え

いじょう
以上

も じ
文字サイズ11
みぎぞろ
右揃え

と あ じん じ ぶ きょういく か たんとう あいず
問い合わせ：人事部 教育課 担当 合図
ないせん
内線：16-0202

メール：ais taro@next.ne.jp

で き あ が り

事務文書（氏名）

平成 29 年 9 月 1 日

部長各位

人事部教育課

合図 太郎

パソコンスキルアップセミナー開催について

このたび、パソコンの利用技術の向上を目的としたセミナーを開催いたします。今回は、かねてから要望の多かった「事務文書」の講座です。

つきましては、参加希望者の氏名と希望の日程を各部署にて取りまとめの上、受講申込書にてご回答をお願いいたします。また、事前に受講者のレベルを把握するため、使用状況に関する質問を設けましたのであわせてご記入ください。

1. 開催日：平成 29 年 9 月 25 日（月）～28 日（木）4 日間
2. 開催時間：18：30～20：30
3. 研修会場：本社 2 階 パソコン研修室
4. 研修内容：「事務文書作成」初級・上級 各 5 名ずつ
5. 回答期限：9 月 20 日（水）

4 日間必ず全て出席するようにしてください。

以上

問い合わせ：人事部教育課 担当 合図

内線：16-0202

メール：ais_taro@next.ne.jp